

〔科目名〕 フィールドスタディ	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 基礎科目
〔担当者〕 五十音順 引率・指導(クラス担当) 大矢 奈美、 樺 克裕、 木立 力、 巽 一樹、 七宮 圭、 橋本 悟 コーディネーター 大矢 奈美	〔オフィス・アワー〕 時間: クラス担当教員の指示に従ってください。 場所: 同上	〔授業の方法〕 講義、演習
〔科目の概要〕 具体的な経済活動に触れ、現実感を持って経済活動を理解したり分析したりすることに興味を持ち、経済学への学習意欲を高めることが授業の目的です。したがって経済学科能力育成プログラムの第一段階の「経済学への動機づけ」の役割も担っています。春学期で履修済みの経済学基礎論とともに、経済活動の現場の見学や事業者による講話を通じ、実社会の経済活動に対して科学する心が芽生えるものと考えています。 授業では県内事業所から講師をお招きする講話の聴講1回と、県内の事業所・組織の見学1回をおこないます。講話は通常の授業時間帯に、見学は土曜日を設定しています。具体的な日程は、皆さんが所属するクラスによって異なります(所属クラスは、春学期に決定済みです)。なお、今年度の日程は次の通りです。 クラス①②: 講話 10 月 31 日、見学 10 月 5 日 クラス③: 講話 10 月 10 日、見学 10 月 26 日 クラス④: 講話 10 月 10 日、見学 11 月 9 日 クラス⑤: 講話 10 月 17 日、見学 11 月 9 日 クラス⑥: 講話 10 月 17 日、見学 11 月 16 日 この授業を有意義なものにするため、各人がレポートを書き、学期末にクラス担当教員に提出します。このレポートは、講話での説明や現場の見学を通じて社会の経済活動に関する皆さんの一層の興味や理解を深めることが主な狙いですので、各自がテーマを選び、何が(経済的)課題で、課題解決のためには、何が必要とされなければならないか等をまとめてください。講話の聴講・見学後のレポート執筆はこの科目の重要な位置づけになっています。皆さんの自主性を重んじていますので、各自が課題を持ち、積極的に図書館などを利用して文献調査を行い、さらに必要な基本的知識も学習してください。したがってレポートには参考文献リストを付けることになりますが、その作り方や脚注の使い方など、レポート作成の作法を確認する機会にもなるでしょう。レポート執筆の際はクラス担当教員に積極的に相談してコメントを受け、学期末に実りあるレポートを提出してください。 具体的な流れ： 1. オリエンテーション (各クラスの日程や事業者の事業内容・注意事項などについて説明します) 2. 事前研究 3. 講話の聴講・事業所見学 4. レポート執筆 講話の聴講・見学やレポートを実りあるものにするためのポイントは、自分はどうような視点で話を聴き、見学するのかを事前に決めておくことです。そういう視点を持つためにも、事前研究は必須であり、重要な役割を担っています。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け）・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 実際の経済活動の場を知り、現実感を持って経済学を学習するきっかけを得ることが期待される授業であり、経済学科能力育成プログラムの第一段階の「経済学への動機づけ」の役割も担っています。講話の聴講や事業所など見学を通じて実社会の経済活動の諸問題に対して興味を持ち、それらを論理的に理解したり分析したりすることの重要性を認識してください。さらに次年度以降に履修する展開科目の動機づけになればと思います。		

〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 講話の聴講・事業所などの見学と自主性を重んじたレポート執筆を通じて、学生自らが経済的な問題について考えるようになれば幸いです。その際には何が重要になるのでしょうか。一年生の段階では統一的・論理的分析が困難かもしれませんが、論理的思考力を鍛えることの重要性は認識してください。そのような認識をもって、授業に臨めば、得られるものは多くなります。また、この科目を通じて得た問題意識は、今後、どのような科目を履修するのか考える際にも役立つでしょう。
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 昨年度同様、講話と見学を組み合わせるプログラムを作りました。 また、例年好評を得ているレポートの添削指導については、引き続き充実した指導をおこなうよう心がけます。
〔教科書〕 なし。クラス担当教員が適宜資料を配布する予定です。
〔指定図書〕 なし
〔参考書〕 なし
〔前提科目〕 なし
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 次の2つを総合して、各受講者を評価します。(1)講話・事業所見学时などを含む授業内における活動・貢献、(2)聴講・訪問後に執筆するレポート。
〔評価の基準及びスケール〕 〔学修の課題、評価の方法〕で書いた通り、授業内における活動・貢献と、レポートの総合評価によって、皆さんの成績が決まります。さらに言えば、講話の聴講・事業所見学への参加はレポート執筆の前提となりますので、講話のある日、事業所見学の日の体調には十分気を付けてください(新型コロナウイルス感染等に関しては、大学の定める行動フローに従ってください)。冠婚葬祭など、やむを得ない事情で参加出来なくなった場合には、クラス担当教員へ早急に連絡してください。
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ● 本科目は多くの学内外の方々の協力を頂いて成り立っています。この科目が有意義なものになるよう講話や見学時の皆さんの積極的な質問や姿勢を期待しています。さらには意欲的なレポートも期待しています。 ● 高校までの授業で話を聴いた、訪問したという事業所もあるかもしれませんが。そのような場合でも、大学生らしい視点(できれば経済学や経営学に基づく視点)で、話を聴いてください。 ● 〔科目の概要〕で述べたように、この科目では春学期中にクラス編成を済ませています。このため、原則として秋学期中のクラス間移動を認めません。 ● 2024年7月の説明会で、資料を配布しました。この資料には、講話をしてくださる事業者や訪問する事業所の紹介、注意事項が掲載されています。本科目の受講に際して、この資料を適宜参照してください。
〔実務経歴〕 実務経験のある教員 :樺先生
プログラムの段階的スケジュール

1 段階	各事業所に関する事前研究
2 段階	講話の聴講 ・ 事業所見学
3 段階	レポートの課題決定（クラス担当教員と相談）
4 段階	クラス担当教員による <u>レポート添削を2回</u> 行います。
5 段階	<u>最終レポートの提出（クラス担当教員へ）。</u> 提出期限は2025 年1 月中旬を予定しています。各クラス担当教員の指示に従ってください。